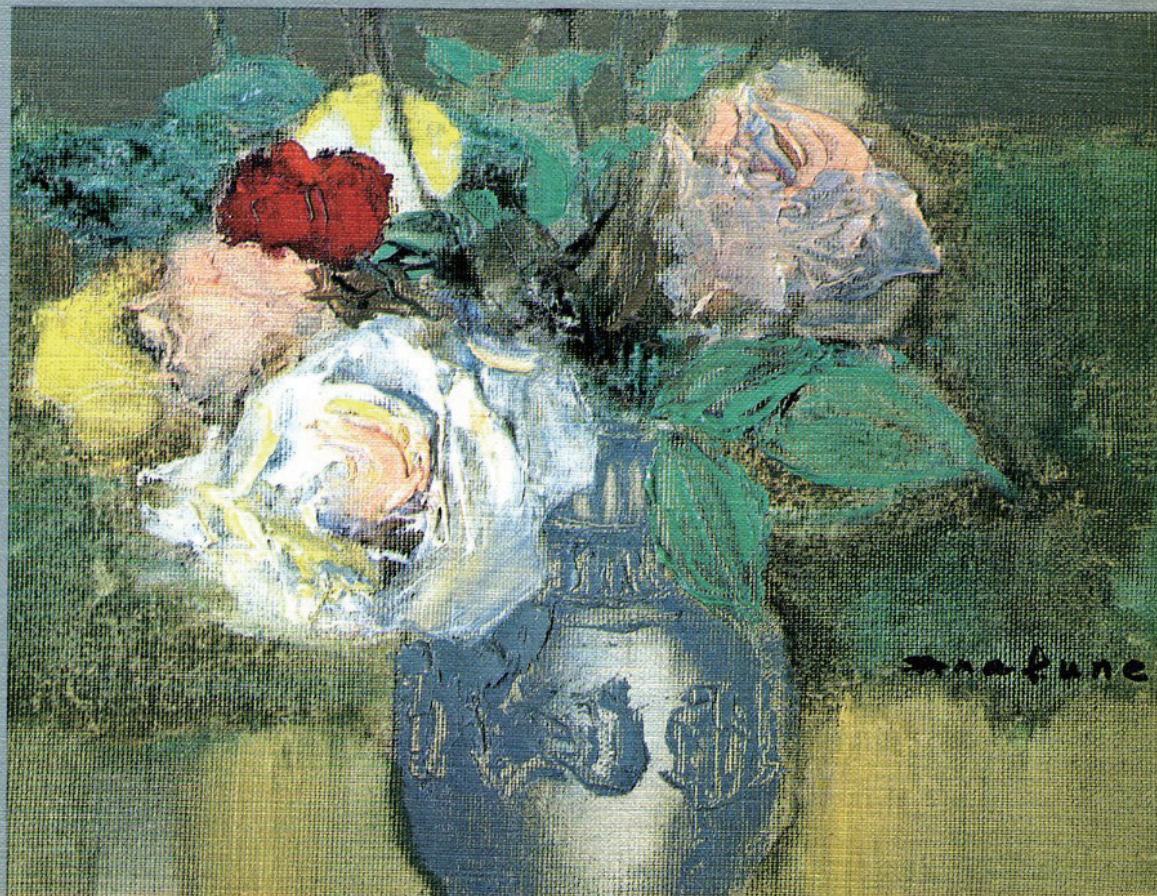


まぼろしの詩 あしたの詩



日本作詩家協会年刊詩謡集

1975年版

詩人の詩としての詩

日本作詩家協会年刊詩謡集

1975年版

序

藤間哲郎

私たちの年刊詩謡集も、今年で六番目の誕生である。

男の子か、女の子か、それは気にしないし、うれしいことには変りない。

先達も売れっ子も駈け出しも、文句一つ云わずに、書きおろしを寄せあったお蔭と思っている。

ただ、亡くなられたサトウハチロー会長の玉稿を見ることができないのが、残念でならない。

思えば、この詩謡集刊行のアイディアは、先生が出されたものである。

そして、刊行の都度きまっておいしそうに祝杯を傾けられたものである。

あれほど詩にきびしかった先生も、この詩謡集の内容には目をつむってくださったようである。

むしろ、私たちの和やかなまとまりを喜んでおられたに違いない。

私は、まずこの一冊を、先生の御霊前にお届けするつもりでいる。

そして、あらためてお誓いするつもりでいる。

——今後もつづけて沢山の子供を産んで行きます——と。

(日本作詩家協会理事長)

もくじ

序	藤間 哲郎	一
禁じられた愛の旅	アベ・イチロー	三〇
朝のおんな	あかはた 元康	三
ごめんなさい	亜衣 俊介	三
一人ぼっちの夏まつり	相田 八郎	三
おけさ椿	青木 三郎	三
女の回想	青木 繁	三
北国の恋唄	秋田 泰治	三
恋のトラブル	秋田 三枝	七
つよがり悲歌	浅熊 幸	六
裏町女	浅野 哲晴	六
名勝負	芦北 士郎	三
ゴルフ小唄	芦田 しげる	三
白い風のメルヘン	飛鳥井 芳朗	三
女の過去を雨が消す	雨宮 茂男	三

西橋ブルース	綾部	孝男	四
おもかげ怨歌	鮎川	公正	三
なみだ町	新井	みさち	二
誰も泣かないで	荒川	利夫	七
オリーブの墓標	荒木	忠雄	六
哀 (あい)	いけや	かつとし	元
わかれ旅	いばら	城	〇
お預け	いまだ	完	三
どうでもいいわ	井田	誠一	三
金沢に君ひとり	伊丹	将人	三
恋の願い	伊予	圭相	四
赤いバラのストーリー	飯塚	義美	四
お馴染酒場	池上	信	四
小さな針箱	池田	充男	七
不忍情話	石	一十	四
函館坂町霧の街	石川	泰久	四
夕子のバラード	石田	健次	五
あなたがいれば	石橋	正子	五
現住所	石本	美由起	五
恋なみだ	市川	武志	三
ネオン街	稲葉	爽秋	四
北帰行ブルース	猪俣	泰彦	三
やもめ人生	茨	つとむ	三

冬よお前が好き	岩崎	吉太郎	三
天草の鐘	岩瀬	ひろし	三
泣いた女だけが	岩本	拓三	三
ゆきざり	宇山	清太郎	三
金沢未練	上野	たけし	三
あざみの街	植田	竹雄	三
おんなの鍵	臼井	ひさし	三
故郷はうそ八百番地	詩川	しぐれ	三
通りすぎる青春	宴	ゆり	三
日蓮大聖人	内	与詩守	三
愛の判決	海原	光	三
恋の寒冷前線	梅田	幸三	三
恋の終りを長崎で	江島	子秋	三
うらつくば哀歌	海老沢	孝一	三
落ち葉の街	榎本	勝春	三
お母さん 憶えています	遠藤	英一	三
真実哀歌	おいだ	みのと	三
札幌は雪	おおくら	夏枝	三
港のマリア	おち	としこ	三
赤いけしの町	小川	淳	三
さよならの人	小口	幸司	三
空をとんだ夢	小黒	恵子	三
詩人と涙	小俣	ハチロウ	三

さよならを言いましたう……………	及川	はじめ……………	〇
土佐の恋唄……………	大久保	正弘……………	一
つよがり……………	大倉	あきを……………	二
恋の五ヶ条……………	大坂	秀次郎……………	三
一円玉のブルース……………	大沢	昭男……………	四
京都の宵……………	大竹	ゆきを……………	五
忘れた筈の人……………	大野	いくを……………	六
鳥取砂丘……………	大橋	哲郎……………	七
明日を下さい……………	大場	かんじ……………	八
流転虚無之助……………	大村	ひろし……………	九
愛する人へ……………	大屋	哲夫……………	〇
うれしい雨……………	大渡	弘良……………	一
淀川しぐれ……………	逢坂	豊……………	二
タイトルのない歌……………	丘奈	さちを……………	三
忘れられても忘れはしない……………	岡田	壮三……………	四
夜風のうた……………	岡野	極……………	五
哀しい女……………	岡本	和子……………	六
かもめ日記……………	奥野	椰子夫……………	七
夜の影に咲く花……………	荻原	秀夫……………	八
浮世川……………	落合	良雄……………	九
酒のうた……………	帯谷	瑛之介……………	〇
考えたってしょうがない……………	かねこ	ともじ……………	一
生まれ変わる町……………	かわうち	登……………	二

横丁の夏祭り……………	加藤	完二……………	一〇三
ペーパー旅行……………	加藤	忍……………	一〇四
男が燃えるとき……………	加藤	省吾……………	一〇五
男と女……………	鹿野	里美……………	一〇六
どうして泣かないかいけないの……………	狩野	雅彰……………	一〇七
酒場ざれ唄……………	門井	八郎……………	一〇八
男じゃないか……………	金井	幸穂……………	一〇九
予感……………	兼崎	康美……………	一一〇
私をもどして……………	鎌田	まさる……………	一一一
さみだれきぎょう……………	川合	秀夫……………	一一三
スナック「渚」……………	河井	哲治……………	一一三
日蔭花……………	きだ・たろう……………		一一四
恋花火……………	木谷	鴻治……………	一一五
あの人の香り……………	木村	じろう……………	一一六
満月……………	菊地	英夫……………	一一七
帰りたい オロロンの島へ……………	北原	楨夫……………	一一八
生きがい……………	北町	しのぶ……………	一二九
海に告げたさよなら……………	工藤	りつお……………	一三〇
愛の流れ……………	九条	高嶺……………	一三二
男の出番……………	黒白	ミノル……………	一三三
誰にも言わないで……………	桑	早苗……………	一三三
蛇苺の詩……………	剣	あざみ……………	一三四
火の国むすめは恋心……………	ごとう・としのぶ……………		一三五

北斗の慕情……………	こばやし	克至……………	二三
十方吉口笛旅……………	小高	勝義……………	二七
東京 仙台 国分町……………	小嶋	かずひろ……………	二八
ここが俺らの故郷なんだ……………	小島	高志……………	二九
こけし娘……………	小林	金次郎……………	三〇
琵琶湖慕情……………	古神子	民雄……………	三一
ふるさととは恋しきところ……………	古頃	正章……………	三三
幸福駅へ汽車がでる……………	五条	ユキシロ……………	三三
あの人は誰……………	郡山	幸子……………	三四
コーヒーシュガー……………	越砂	温夫……………	三五
あの灯台の灯りのように……………	サトウ	幸志……………	三五
どうしていますか……………	さきき・じゅんこ	……………	三七
白い貝殻……………	さきゆう	かつみ……………	三八
鷗が死んだ次の朝……………	さとう	ひでを……………	三九
残俠ながれ唄……………	佐久間	常夫……………	四〇
誓いの唄……………	佐東	たどる……………	四一
人 生……………	佐藤	菊絵……………	四三
ひ も……………	佐藤	進……………	四三
七つの故里……………	佐藤	木章……………	四四
木造りのおもいで……………	佐藤	正美……………	四四
噂を聞きました……………	佐野	和子……………	四六
私だけの夏……………	西條	直樹……………	四七
酒場エレジー……………	斎藤	政美……………	四八

あなたの誕生日……………	酒井 国雄……………
あなたに うたう……………	酒井 鉄男……………
ラビン自由が丘……………	酒井 良之佑……………
風 おんな……………	堺 ナオコ……………
未練十二橋……………	坂入 洸一……………
しのび待ち……………	坂口 雅輝……………
裏町酒場……………	榊原 康司……………
歌謡一代……………	崎田 暁生……………
わかるんだナ……………	咲山 道雄……………
涙……………	じゅん 知央……………
い い え……………	四賀 郷子……………
ふ た り……………	志賀 大介……………
兄 妹……………	志摩 勝也……………
男 の 詩……………	清水 千春……………
今夜のあなた……………	斯波 一絵……………
女の望郷……………	紫藤 孝……………
その灯は消さないで……………	鹿倉 義一……………
酒は男の子守唄……………	柴田 よしかず……………
惚れている……………	渋沢 登磨……………
モナ・リザ……………	島田 馨也……………
夫婦流し歌……………	島田 信義……………
京都にて——静子……………	島本 富美子……………
日の本太鼓……………	周東 敬二……………

女のしおり……………	白土	やすじ……………	一三
落ちた偶像……………	白水	かおる……………	一三
男と女の子守唄……………	新保	治平……………	一四
別れの花はあじさいの花……………	すぎ	こういち……………	一五
かわいそくって やだくって……………	須田	ひろし……………	一六
泣いてる神戸……………	眇田	栄一……………	一七
消えたあの娘……………	鈴木	淳子……………	一八
忘れちゃいな 棄てちゃいな……………	鈴木	昭一……………	一九
女の口笛……………	鈴木	哲郎……………	二〇
愛していても……………	鈴木	宗敏……………	二一
銀座八丁おんながひとり……………	鈴木	夜詩夫……………	二二
恋の鳥羽港……………	砂見	爽……………	二三
札幌の七五〇日……………	角田	摩由子……………	二四
沙婆羅破羅……………	関沢	新一……………	二五
ふるさとに帰る……………	相馬	詩彦……………	二六
サンタマリア……………	相馬	日照……………	二七
おんなでありたい……………	園田	一俊……………	二八
いでゆの夜……………	たかぎ	かずお……………	二九
名 城……………	たなか	ゆきを……………	三〇
白い風吹くふるさと峠……………	田中	凡オ……………	三一
魔法の笛……………	田畑	しげき……………	三二
はずかしながら……………	田村	和男……………	三三
お別れします……………	田村	マロー……………	三四

君は花の匂い……………	田村	みどり……………	一九五
片 乳 房……………	高上	あゆむ……………	一九六
ガラスの愛……………	高須	はじめ……………	一九七
四月の便り……………	高瀬	臣子……………	一九八
賛 歌……………	高月	ことば……………	一九九
君を呼ぶ能登岬……………	高橋	高威……………	二〇〇
白鳥よ故郷へ帰れ……………	高橋	秀佳……………	二〇一
あなたが残したものは……………	高畑	和之……………	二〇二
掬……………	滝	志郎……………	二〇三
四畳半の部屋……………	竹内	大三……………	二〇四
恋 火……………	竹田	勇人……………	二〇五
雪 国 慕 情……………	谷川	まさる……………	二〇六
夕やけとんぼ……………	谷田	幸平……………	二〇七
オホーツクわが愛……………	玉木	一史……………	二〇八
津軽じょんがら節の誕生……………	千葉	幸雄……………	二〇九
哀愁おけさ……………	津田	健二……………	二一〇
木枯しのメルヘン……………	塚谷	清一……………	二一一
からっぽの愛……………	筑紫	みなも……………	二一二
あ の 人……………	土屋	紅……………	二一三
夕ぐれの港町……………	土佐	友和……………	二一四
樹海の奥に消えた人……………	戸枝	ひろし……………	二一五
三途の河原で……………	遠山	哲哉……………	二一六
今宵もひとり……………	徳永	みどり……………	二一七

おんな雨	富田	清吾	三三八
あなたって	富山	紫峰	三三九
愛が悲しみに染まる時	豊沢	正義	三三〇
お茶をおかわり	なかにし	礼	三三一
二十四時が燃えている	中川	連	三三三
泣きたいブルース	中川	みのる	三三三
芸能三文トリオ	中島	清一	三三四
素足	中野	仙次	三三五
なみだの湖	中野	惣太郎	三三六
そっとしといてやれよ	中野	芙美世	三三七
江戸っ子音頭	中村	あきら	三三八
約束の時間	中山	二夫	三三九
湯の町ブルース	七浦	渚	三三〇
新地のおんな	七瀬	和宏	三三一
雪の中の独り	成瀬	左千夫	三三三
女が死んだのは	仁智恵	大造	三三三
おんなの性	仁礼	美智雄	三三四
爪をかむのは	西沢	爽	三三五
一人にさせて	西山	昌子	三三六
やもめの唄	ねもと	みつや	三三七
にぎりめし	能勢	英男	三三八
恋っぼみ	はぜやま	清美	三三九
愛	はまだ	ゆきお	三四〇

舞	扇	長谷川	洋	二四一
よじれ雨	長谷部	ユリ	二四二	
あなたが欲しい	八反	ふじを	二四三	
潮風みたい	服部	迪夫	二四四	
永照音頭	英	玲二	二四五	
女の夜をのぞかないで	花村	かおり	二四六	
ヨコハマ恋唄	浜	大介	二四七	
女のひとり唄	浜	日出男	二四八	
蒸 発	浜	実	二四九	
恋の狩人	林	秀夫	二五〇	
無 念 桜	原	俊雄	二五一	
一 軒 家	伴在	主計	二五二	
男人生唄	平井	健一	二五三	
白い画像	平川	正義	二五四	
紙 切 れ	平山	忠夫	二五五	
俺が悪かった	富士見	琴流	二五六	
恋の荷物	傅	祖恭	二五七	
記念切手	深瀬	和雄	二五八	
常灯の鼻にて	藤浦	洸	二五九	
シクラメンの願い	藤	ち絵	二六〇	
どないしよう	藤原	逸露	二六一	
波止場街	藤間	哲郎	二六二	
未婚の母	藤	みつを	二六三	

恢復祝	藤本	やすこ	二六
戦艦大和の母なれど	古市	哲夫	二六
おいでよ亜子	古館	多加志	二六
故郷の恋みち	北條	新太	二七
赤い爪のストリー	鳳司	哲夫	二六
甘い後悔	星合	節子	二六
わすれもの	星野	哲郎	二七
涙の娘遍路	細川	憲哉	二七
雪の町	細川	裕太郎	二七
悲しい子守唄	本間	繁義	二七
むさぼる	本間	長三郎	二七
私のファンタジア	真弓田	幸一	二七
小さな貝がらの物語	前島	達夫	二七
険のふるさと	前田	利茂	二七
男の魂	牧	房雄	二七
はしご酒	榎野	八重子	二七
風雪	増子	善典	二六
おんな絵	松井	由利夫	二六
新宿波止場	松浦	志津夫	二六
木枯し	松尾	健司	二六
人生切符	松尾	照子	二六
あゝ人生	松尾	幸雄	二六
母と云う名のがみ	松岡	美勝	二六

語り合おうぜ……………	宮沢	章二……………	三〇九
水たまり……………	峰	よしを……………	三〇八
暗い過去……………	南	由紀……………	三〇七
ママの願い……………	南	早苗……………	三〇六
過　　去……………	南	咏子……………	三〇五
かくれんぼ……………	水野	甚太郎……………	三〇四
都会の子守唄……………	水谷	洋子……………	三〇三
季節は空を流れても……………	水木	かおる……………	三〇二
「95　日」……………	水紀	亜美……………	三〇一
グッド・バイ　ナイト……………	御園	拓呂年……………	三〇〇
昨日の人……………	美山	鋭太郎……………	二九九
ふたりの表札……………	三宅	立美……………	二九八
未　練　酒……………	三益	武司……………	二九七
恋人たちの午後……………	三谷	ケイ……………	二九六
知　床　岬……………	三島	迪之助……………	二九五
妖　　星……………	三上	博司……………	二九四
しあわせの鐘が聞こえる……………	三浦	貞雄……………	二九三
馬にけられて……………	みずの	稔……………	二九二
冬子との愛……………	松山	幸二……………	二九一
夜更けの艶歌……………	松本	摂子……………	二九〇
長崎の雨に歩く恋……………	松本	英佑……………	二八九
季節はずれの雪見酒……………	松下	章一……………	二八八
流　　れ　　星……………	松崎	暎子……………	二八七

答	え	宮沢	守夫	三〇
赤い夕日のバラード		宮田	隆	三一
明日をけしたい		宮中	雲子	三三
泪の国際線		むらやま	たけし	三三
美保のくちびる		村上	文恵	三四
買 い 言葉		村山	二永	三五
悲しみはさけられない		室屋	安美	三六
過 去		室山	多香史	三七
未 練 川		持田	三郎	三八
さよならは言わないで		森	きよみ	三九
夜は男の味方する		やつき	にか	三〇
暫くの旅立ち	やまだ	りゆう		三一
女の噴火口		矢ヶ部	信次	三三
きみかげ草の歌		柳	英二	三三
おちば舟		山上	雅人	三四
忘れたネクタイ		山上	路夫	三五
あゝ首里城		山口	純	三六
フ ィ ー ル		山下	晋	三七
筋書通りの女		山田	晃義	三八
恋 情		山田	世津夫	三九
ガラスの愛		山田	佳泉	三〇
あなたの港		山本	志げみ	三一
女は雨の日に弱い		山本	直	三三

あぶれ人生	山本	ひとし	三三
幸せを信じて	雄城	真琴	三四
おんなの告白	夢	虹二	三五
或る男の奇蹟	吉田	旺	三六
からだが溶ける	吉田	哲也	三七
つまずいても	米原	理	三八
夜 汽 車	六条	宙	三九
愛 した ら	わたなべ	ちかお	四〇
みんなどこへ	わたべ	まちこ	四一
惜 春 譜	若山	かほる	四二
男が泣いた	渡辺	治	四三
あゝ香港の清麗花	渡辺	和 於	四四
泣くのはよして	渡辺	久士	四五

題字 西 沢 爽
表紙 荒 船 利 雄